

千葉県の教育指針
「生きる力」の育成

睦沢町の教育
自ら一步を あゆみだす15歳

令和6年度 学校教育目標
**人間力・社会力を身に付けた
輝きいっぱい睦沢の子**
—楽しさいっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい—



【めざす児童像】

楽しさいっぱい

基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを活用して課題を解決する子

- 学習問題や学習のまとめを自分の言葉で表現する
- デジタルドリルの活用等家庭学習に習慣的に取り組む
- 各教科等で学んだ知識や技能を「睦沢ふるさと学習」等で活用する
- 読み聞かせ・朝読書や並行読書等で本に親しむ



やさしさいっぱい

自他のよさを認め、意見を交わしながらよりよいものを見出ししていく子

- 国語科の「話すこと・聴くこと・話し合うこと」を生かしたコミュニケーションを試みる
- 「道徳科」を要とし、状況を的確に捉えた上で自分ならどうするか考え、他者と意見を交わす
- 自分らしさやその子らしさを受け入れ、「ふわふわことば」を意識的に使う
- 読み聞かせ・朝読書や並行読書等で本に親しむ

元気いっぱい

目標に挑戦し、成長を喜べる子

- 体育科授業における体づくりやマラソン、縄跳び等に取り組む
- 「早寝・早起き・朝ご飯」に習慣的に取り組む
- 学校行事や学習活動において、危険を予測したり自らの安全を確保したりする見方・考え方を知る
- 学校行事や学習活動を振り返り、成果や課題を確認する



【めざす教師像】

教育の不易を堅守し、確かな学力の育成に向けて絶えず改善を試みる教師

人対人という対等性を重視し、自己肯定感をもたせる教師

個性を尊重し、豊かな心の育成に向けて同じ目線で対する教師

学校・家庭・地域との連携を図り、チームとしての学校づくりに貢献する教師

心身の調和を図り、健やかな心と体の育成に向けて成長を共に喜ぶ教師

教員として、社会人として、充実したキャリアを歩む教師

1 学校教育目標

人間力・社会力を身に付けた 輝きいっぱい 睦沢の子
— 楽しさいっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい —

2 めざす児童像

(1) 「楽しさいっぱい」【知】に関連して

基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを活用して課題を解決する

- 学習問題や学習のまとめを自分の言葉で表現する。
- デジタルドリルの活用等家庭学習に習慣的に取り組む。
- 各教科等で学んだ知識や技能を「睦沢ふるさと学習」等で活用する。
- 読み聞かせ・朝読書や並行読書等で本を手にする。

(2) 「やさしさいっぱい」【徳】に関連して

自他のよさを認め、意見を交わしながらよりよいものを見出していく子

- 国語科の「話すこと・聴くこと・話し合うこと」を生かしたコミュニケーションを試みる。
- 「道徳科」を要とし、状況を的確に捉えた上で自分ならどうするか考え、他者と意見を交わす。
- 自分らしさやその子らしさを受け入れ、「ふわふわことば」を積極的に使う。
- 読み聞かせ・朝読書や並行読書等で本に親しむ。

(3) 「元気いっぱい」【体】に関連して

目標に挑戦し、成長を喜べる子

- 体育科授業における体づくりやマラソン、縄跳びに取り組む。
- 「早寝・早起き・朝ご飯」に習慣的に取り組む。
- 学校行事や学習活動において危険を予測したり自らの安全を確保したりする見方・考え方を知る。
- 学校行事や学習活動を振り返り、成果や課題を確認する。

3 めざす教師像

(1) 「楽しさいっぱい」【知】に関して

教育の不易を堅守し、確かな学力の育成に向けて絶えず改善を試みる教師

- 学習素材から児童の問題意識を引き出して学習問題につなげたり、それに対して何が言えるのかまとめさせたりする活動を充実させる。
 - ・授業研究
 - ・相互授業参観
- デジタルドリルや「家庭学習の手引き」を活用して、児童一人一人の実態に応じた家庭学習を推進する。
 - ・デジタルドリルを効果的に活用するための研修
- 各教科等との関連をおさえた生活科・総合的な学習の時間の授業を展開する。
 - ・指導計画の見直し
 - ・授業研究
 - ・校内研究
- 読み聞かせや朝読書、並行読書を充実させる。
 - ・読書の時間の確保
 - ・特設コーナー等学習や行事に関連する本を紹介する場の設置

(2) 「やさしいいっぱい」【徳】に関して

個性を尊重し、豊かな心の育成に向けて同じ目線で対する教師

- あらゆる活動の中で、「話すこと・聴くこと・話し合うこと」を意識したコミュニケーション活動を行う。
 - ・「睦沢小スタンダード」の理解
- 「道徳科」の学習素材（教材文）から問題場面の状況を的確に捉えさせて自分の考えをもたせるとともに、他者の考えと比較させる。
 - ・教材研究
 - ・相互授業参観
- 児童理解に努め、必要な支援は確実にを行うとともに、取組の過程を「I（アイ）メッセージ」で称賛する。
 - ・特別支援教育の視点
 - ・「I（アイ）メッセージ」
- 読み聞かせや朝読書、並行読書を充実させる。
 - ・読書の時間の確保
 - ・特設コーナー等学習や行事に関連する本を紹介する場の設置

(3) 「元気いっぱい」【体】に関して

心身の調和を図り、健やかな心と体の育成に向けて成長を共に喜ぶ教師

- 体育科授業の始めに体づくりの運動の時間を設けるとともに、体育的行事を活用して体力向上に努める。
 - ・運動会
 - ・水泳
 - ・マラソン
 - ・縄跳び
- 体育科や特別活動の中で栄養教諭と連携するなどして、「早寝・早起き・朝ご飯」の大切さを啓発する。
 - ・指導計画の確認（体育、特別活動、食育）
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯」調査
- 避難訓練や学級活動、体育科、生活科等において、安全に関する知識を与え、それを基に安全な行動を考えさせる。
 - ・安全計画の確認
 - ・指導計画の確認（体育、特別活動、生活）
- 行事や学習に際しては目標や課題をもたせるとともに、振り返りで自らの成長を自覚し

今後への展望をもたせる。

- ・キャリアパスポート
- ・学習感想や成果物の内容へのコメント（評価）

(4) 児童とのかかわりに関して

人対人という対等性を重視し、自己肯定感をもたせる教師

- 「支援、称賛、時に指導」という観点で教育活動に臨み、指導の際は、支援を図った上でのものであることに留意する。
 - ・基礎的環境整備・ユニバーサルデザイン
 - ・合理的配慮
- 結果ではなく、児童の取り組んだ過程の部分を「I（アイ）メッセージ」で称賛する。
 - ・「今日のキラリ」
 - ・「I（アイ）メッセージ」
- 挨拶と笑顔を絶やさず、受け入れられているという安心感を児童にもたせる。
 - ・挨拶

(5) 組織の一員であることに関して

学校・家庭・地域との連携を図り、チームとしての学校づくりに貢献する教

- 「報告・連絡・相談」を行い、同僚や保護者、地域住民と連携して教育活動にあたる。
 - ・連絡帳への一言コメント
 - ・ボランティアへの協力依頼
- いじめ、児童虐待、LGBTQ、ヤングケアラー、男女共同参画等に通底する「人権」について十分に理解する。
 - ・人権に関する研修
- 業務の効率化を図りつつ、より児童のためになる取り組み方があれば進んで提案する。
 - ・週1回のノー残業デー
 - ・ICTの活用
 - ・スクラップアンドビルド

(6) 教育に携わる者であることに関して

教員として、社会人として、充実したキャリアを歩む教師

- 教職は専門職であるという誇りと教科等の指導に強みを持ち、自らのキャリアを見据えて研修を続ける。
 - ・目標申告の活用
 - ・研修履歴システム“Plant（プラント）”の活用
- 服務規程等を遵守するとともに、自らの姿・言動が教育環境であるという自覚をもつ。
 - ・不祥事根絶研修
 - ・モラルアップの取組
- 幅広い教養、豊かな経験など、人として学び続ける姿勢をもつ。
 - ・趣味への没頭
 - ・多様な人との交流